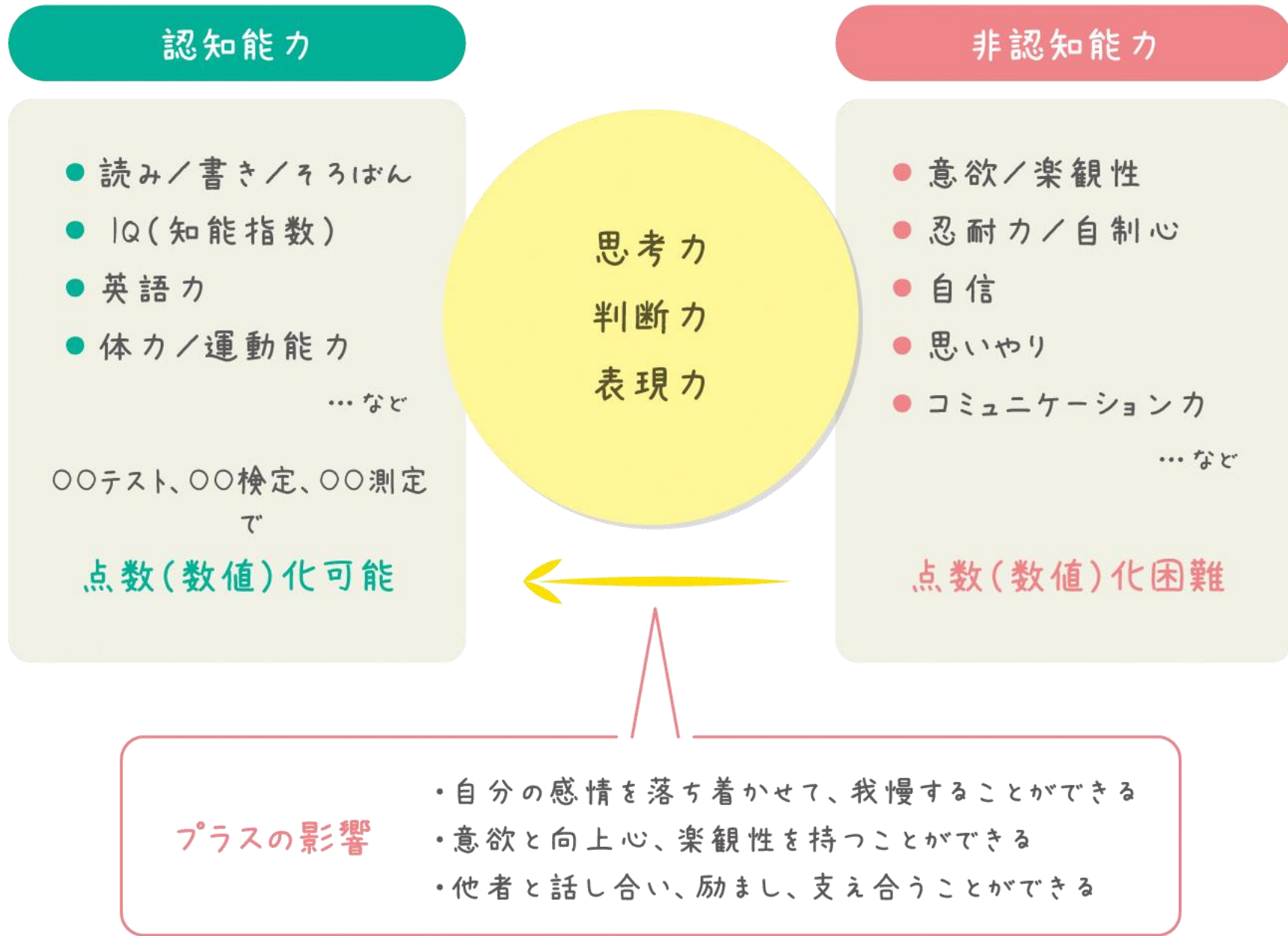


非認知能力って何だろう（資料1）

非認知能力は一言でいえば『点数化できない力』のこと！

読み書きや計算、運動能力といった点数化できる力は「認知能力」です。意欲やがまん、思いやりといった点数化しにくい力を『非認知能力』といいます。（思考力・判断力・表現力といった認知能力か、非認知能力か区別しにくい力もあります）さらに非認知能力が伸びると認知能力にもプラスの影響を与えと言われており、2つの力は対立するものでなく、共に伸ばしていくことが大切です。



しっかりと「支える基礎」を整えよう！

非認知能力は認知能力を支えることができる力でもあります。家に例えると、「自己肯定感」が土台で、家を支えるための柱や筋交いが**「非認知能力」**です。

その支えるための基礎がしっかりとしていればその上に壁や天井・屋根・装飾といった「認知能力」を身につけやすくなります。



【壁・天井・窓・装飾】

→ **認知能力(知識・技能)**

数値化できる(認知的な)
知識や技能

【柱・筋交い】

→ **非認知能力**

数値化できない力
意欲、楽観性、忍耐力、自制心、自信
思いやり、コミュニケーション力など

【土台】

→ **自己肯定感(自己受容感)**

・自分という存在そのものを肯定
できていること

出典：『学力テストで測れない非認知能力が子どもを伸ばす』

中山芳一 東京書籍 2018